



埼玉県立浦和西高等学校
Urawanishi High School

発行日 令和2年11月27日
学校通信 ～西高は今～
発行責任者 校長 杉林 正敏
HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

〈GRIT〉を伸ばす

校長 杉林 正敏

令和2年（2020年）も残りわずかとなりました。振り返ると、世界も日本も、そして教育界もこれほど目まぐるしく変化する年はこれまでなかったのではないのでしょうか。世界中の人がマスク着用を余儀なくされ、オリンピックが延期となり、社会ではリモートワークが進み、学校ではオンライン教育の必要性が増しました。今は世界中の人々が我慢する時なのかもしれません。

しかし、変化する時代に怖気づかず、生徒たちが明るい未来を信じて前向きに過ごすことができる環境をできるかぎり整えることが学校の使命だと私は思います。

〈GRIT〉という言葉があります。「やり抜く力」と定義され、アメリカのペンシルバニア大学心理学教授のアンジェラ・ダックワース氏が提唱しています。変化が激しい現代、生徒たちは困難やさまざまな障害にぶつかっていることでしょう。氏は著書『GRIT』の中で「『明日はきっといい日になる』と『明日はもっといい日にしてみせる』では大ちがいた。『やり抜く力』の強い人々が持つ希望は、運とは関係ない。何度転んでも起き上がる。それがすべてだ」と述べています。まさに「七転び八起き」の発想です。この発想が今改めて生徒たちに必要なのではないかと感じています。

では、挫折しても立ち上がるという〈GRIT〉を伸ばすにはどうしたらよいのでしょうか。氏は「興味を掘り下げる」「自分のスキルを上回る目標を設定してはそれをクリアする練習を習慣化する」「自分の取り組んでいることが、自分よりも大きな目的とつながっていることを意識する」ことなどの大切さとともに、親・教師・友人など周りの人の支援の必要性も説いています。

本校では「確かで高度な学力」「信頼される人間力」「たくましく健やかな心身」という3つの力の育成を通し、〈GRIT〉を伸ばすことに力を入れてまいります。

1 「体育的行事」（1学年）



体育祭は例年6月上旬に実施していますが、コロナ禍で学校行事としては中止とせざるをえませんでした。その代わりに、各学年で教員と体育祭実行委員などが中心となって、それぞれ別日程で「体育的行事」を企画し、実施することになりました。

10月2日（金）午後、抜けるような秋空のもと、1学年「体育的行事」が開会されました。1年生は入学して初めての体育祭や文化祭を経験することができませんでしたが、今回はその1年生たちに少しでも体育祭の雰囲気味わわせてあげたいという1学年の先生たちの熱い思いが感じられました。

2 「共通テスト100日前集会」（3学年）



10月9日（金）7時限目、3年生対象に「共通テスト100日前集会」を実施しました。

進路指導主任から「受験校を考える」と題して講話

がありました。初めに、①第一志望は絶対に譲らない、②行きたい大学なら構わない、③兎に角、現役で！という「大前提としての3択」が示され、それぞれに応じたアドバイスがありました。その後、経験とデータに基づいた具体的な話があり、皆真剣に耳を傾けていました。

講話の最後に、出願等に関するミス防止のため、「細心の注意をはらう」「勝手な判断をしない」という点に関しての詳しい指導があり、3年生一同、気持ちが引き締まったことと思います。

3 「未来の種」進路講演会（1学年）



10月30日（金）午後、1年生対象に「未来の種」進路講演会を実施しました。

「未来の種」進路講演会は「本校の卒業生から現在の仕事や進路についてのお話を聞くことにより、生徒の進路に対する意識を高める」ことを目的として、15年ほど前から実施している行事です。今回は柔道整復師の長谷川瑞紀さんをお招きし、『興味と納得の一步から その先へ』という演題でご講演いただきました。

長谷川さんはサッカー、バレーボール、スキー、水泳などとスポーツのご経験が豊富で、そのご経験を通して「何か人のためになること」に興味を持ち、そこから自分の進路を探し始めた結果、現在の医療従事者としてのお仕事にたどり着いたと話されていました。

経験を通して得た興味が「自分探し」につながるということは、経験を積むことがいかに大切であるかということだと思います。生徒たちにも経験を重ねることによって興味を持ち、自分で納得のいく進路を選択してほしいと思いました。

4 「リモート文化祭」（全学年）

11月10日（火）午後、「リモート文化祭」を実施しました。文化祭（西高祭）は例年、9月上旬の土曜・日曜日に、一般の皆様にも公開して開催しているところですが、今年はコロナ禍で、県教育委員会の指示もあり、中止としました。このため、文化祭代替行事を行い、西高祭の伝統を少しでも継承できればということで、文化祭実行委員会が企画して実施することになりました。



プログラムとしては、文化部発表の後、有志発表、最後に「ミスター・ミス西高」の発表がありました。参加



文化部は、地学部・演劇部・音楽部・書道部・美術部・管弦楽部・ギター部でした。また、プログラムの間に、文化祭実行委員会企画による全クラス対抗「BINGO」大会も行われました。

5 「体育的行事」（2学年）



11月13日（金）午後、2学年が「体育的行事」を実施しました。

2学年は当初10月9日（金）に実施予定でしたが、雨で順延し調整の結果、約1カ月遅れの実施となりました。満を持しての実施に天気も味方して、小春日和の晴天のもと、生徒たちは思いっきり練習の成果を発揮しました。時間の関係で種目こそ3種類（大縄跳び、ダンス、クラス全員リレー）と少なくはありましたが、内容は大変充実したものでした。

6 「文化的行事」（1学年）



11月20日（金）午後、1学年が体育館で「文化的行事」を実施しました。演劇の実演あり、動画の上映ありという趣向で、生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたのではないかと思います。

1年生も「自主自立」の校風を徐々に身に付けてきているようで、各クラスとも手作りの衣装や小道具・大道具をそろえ、工夫して演出していました。動画の編集なども見事でした。